

大事協だより



大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第70号
2020年10月23日発行

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、今年度の総会は中止、本会としては、はじめての紙上採決となり、また、例年10月開催の地区事務職員研修会が、2日間に分かれて実施されることになりました。

学校が臨時休校となり、ICT教育が急速に普及、情報通信技術を活用したコミュニケーションは、効率よくタイムリーに情報収集や情報共有ができるという大きなメリットがあります。この状況において、個人的に情報通信技術・能力が向上した事務職員も多いのではないかと推察します。ピンチをチャンスに変えたことの一つですね。

大島地区の事務職員同士が地域・校種・年齢経験を超えて、縦・横つながりが必要であること「輪」が大事協の理念です。

しかし、今年度の事業計画の変更に伴い、会議や研修会の中止が余儀なくされ、地区内の事務職員が集まる機会が持てない日々が続いています。この状況を経験し改めて顔を合わせてのコミュニケーションが大切であると再認識しています。新規採用された先生方に、今年度中に一度もお会いする機会がないことや大事協の事業を口頭でお伝えできないことが本当に残念です。

例年行っていた第2回地区事務職員研修会の大事協研修会枠において、研究事例発表を行う予定であった担当地区の奄美市西部・瀬戸内町には紙上発表という形での実践報告となってしまい対応に苦慮されたことかと思えます。コロナウイルス感染症にかかわった時間が、創造的に多くの知恵を出した有意義な時間だったと振り返ることができるよう、一刻も早い終息を願うばかりです。(文責 研修部 新地)

＜ 総会資料の訂正について ＞

今年度の総会資料における和泊町の構成メンバーが昨年度のものとなっておりますので、正しい今年度のメンバーをご紹介します。

和泊町学校事務支援室

学校名	氏名	担当業務
和泊小学校	内山 由佳	室長
大城小学校	濱島 優子	室長補佐
国頭小学校	宮山 博弥	研修業務
内城小学校	豊島 丞一郎	
和泊中学校	大迫 潤一	総務
城ヶ丘中学校	新福 竜弥	



＜ 各地区からのお便り ＞

今回の原稿は与論町・徳之島町からいただきました。与論町からは「支援室だより」もいただきましたので、ぜひご覧ください。



与論町事務職員会

みなさん、こんにちは。与論町事務支援室です。月2回、拠点校の中学校にて実施し、相互認定事務や旅費、町費事務、学校校納金の研究、各学校の情報共有等を行っています。相互点検の際にも数字のチェックだけに限らず、関連する要件と絡めて研修を行い、毎回深い理解に努めています。今年はコロナウイルスの影響もあり、子育て世帯への臨時特別給付金の事務手続きについて相互確認を実施しました。今回に限らず必要な手続きが発生した場合には、いつでも相互に協力体制をつくって取り組んでいます。その他に、夏期休業中に町教委の施設担当者との合同安全点検で各校危険箇所の把握や11月に町教委との意見交換会の合同研修会を実施し、学校現場での要望や質疑等共通理解を深めています。支援室の構成は、全体4名のうち新採2名、再配1名と若手職員が多く、疑問や相談も支援室で話題にすることで、さまざまな助言をいただき解決することも多くあります。また毎年、管外研修視察にも行かせていただき、昨年度は全事研に参加し、学校運営の実現のために事務職員の役割を学び、他県との意見交換も行いました。一昨年度は、視察先として市内の中学校や県立高校を訪問し、市費事務や予算執行等の違いや事務職員が複数配置での、それぞれの役割も知ることができました。今後各学校事務職員としての資質向上を目指していきたいと思えます。

ヨロン駅 ～動輪と入り口を模したモニュメント～



〇与論島の紹介

与論での生活も4年目になりました。週末には職員と潜りに行ったり、マリンスポーツを楽しんだりしています。SUPではなくザップやバナナボード、エクストリームはマリッジットに引かれながら爽快感を味わうことができます。もちろん振り落とされることもあります、そこが楽しく何回もハマってしまいます。最近ではリーフの外まで泳いで行き、誰もいない外の世界をカメラに収めることもできました。限られた時間を大いに楽しんでいきます。

また、与論島に駅があるのをご存じでしょうか。

与論といえば幻の浜「百合ヶ浜」が真っ先に頭に浮かびそうですが、鹿児島県最南端の駅とも称されるヨロン駅は、インスタ映えのスポットとなっています。夜は、周りに街灯がないため星がより輝きを放ち、きれいな星空を一眼レフに収める観光客も多くいます。ちなみに駅名も「天の川 銀河鉄道本線 ヨロン駅」となっています。運が良ければ、流れ星も見ることができるかも。一度は足を運んでみてはいかがでしょうか。来島の際は、新型コロナウイルス感染症防止に努め、新しい生活様式の御協力よろしくお願い致します。(文責 茶花小学校 新徳)



徳之島町事務職員会

こんにちは。徳之島町事務職員部会です。徳之島は徳之島町・伊仙町・天城町の三町から成っており、徳之島町は島内でも東に位置し、南北に広がった地形をしています。真っ白な砂浜や珊瑚礁に囲まれた海岸、青く透き通った美しい海に囲まれ、夏はもちろんのこと冬の海ではホエールウォッチングを楽しむこともでき見所満載です。自然だけでなく徳之島ならではの郷土料理もたくさんありますので徳之島にお立ち寄りの際はぜひ観光をお楽しみください。

徳之島町事務職員部会は南北ふたつの支援室に分かれ、北部6名、南部3名計9名で活動を行っています。支援室は月に2回、研修会は年8回開催を予定しています。

町の研修会では研修テーマを設定し、テーマに沿って「保護者負担軽減について」「補助教材について」「学校財務規程制定に向けて」「就学援助費事務の改善」という柱を立て取り組んでいます。

今年度はコロナウイルスの影響で研修会が開催できないことも多いですが、与えられた時間の中で少しでも研修を深めていけるよう取り組んでいきたいと思っています。



哇 フ リ ン ス ビ ー チ



新規採用者の声

～今回は、採用2年目の方です～



与論町立那間小学校
児玉 裕太

那間小学校に赴任して2年目を迎えました。今年も与論島らしい蒸し暑い夏を過ごしております。振り返ると、1年目の私は、右も左も分からない状態でした。那間小に赴任し、最初の頃は不慣れで、そわそわして何となく落ち着くことができずにいました。時にはミスを犯すこともありました。このような私でも先輩の事務の先生方を始め、同僚の先生方、教育事務所の方、教育委員会の方など多くの皆様の支えもあり、1年目を終え、2年目を迎えることができました。今では、当時難しかった専門用語など少しずつですが理解が進んでいるのを実感しています。

日々の授業の様子を時々廊下からのぞくと、小学生の時こんなことやっていたよなど10年以上前ではありますが思い起こすことがよくあります。1年前は子どもたちと接するのに緊張していましたが、先生方を見習いながら笑顔で接することができるようになりました。

子どもたちのため、学校の職員のため、専門職として事務職員らしい取り組みを今後も追求・実践していきたいと思っています。



瀬戸内町立諸鈍小学校
福留 脩

この度新卒2年目採用となります瀬戸内町立諸鈍小学校の福留脩です。

1年目は初めての島での生活や机に置かれていた大量の書類を見て不安でいっぱいでした。

しかし、支援室の先生方が丁寧に教えていただいたので本当に助かりました。

支援室ではその月に行わなければならない事務処理を全体で確認していたのでその場でわからないことや注意する点を聞くことができました。学校に戻ってからは支援室で確認したことを参考にしながら事務処理を行うことができました。

また、本務校と兼務校の両立をできるか心配でしたが両方の先生方に助けていただき1年間やり遂げることができました。1年目は支援室や先生、地域の方々など多くの方々から助けていただいた1年でした。まだまだ未熟者ではありますが2年目は1年目に学んだことを活かして、事務職員として何が出来るかを常に考えながら業務を遂行していきたいと思っています。今後よろしくお願いいたします。

原稿を編集くださった和泊町、原稿提出くださった与論町・徳之島町ありがとうございました。71号の原稿は大和村・奄美市西部となっています。よろしくお願いいたします。